

広報紙 ほっかいどう

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.



2020.4.24
民族共生象徴空間
オープン



当たる
道産品
裏表紙をチェック! >>>

2019年
12月号
令和元年11月発行
通巻233号

【特集】みんなの応援で、北海道を元気に!

「ほっかいどう応援団会議」を立ち上げました。
たくさんのエールを結集して、
力強い北海道をつくっていきます。

「北海道」命名から150年。

歴史と先人たちへのリスペクトを胸に刻みつつ

次の50年に向け、私たちは歩を進めていかなければなりません。

課題は決して少なくない。けれど大きな可能性も秘めている。

そんな北海道の新しい時代を切り拓いていくために

道民だけではなく、北海道出身の方、

さらには、そうした枠を越え、この北海道を愛してくれる人々の力を
結集できないだろうかと私は考えました。

北海道が活力にあふれ、力強く前に進むように、

北海道が日本を、世界を代表する素晴らしい地域になるように、
皆さんと共に取り組んでいきます。

北海道知事 鈴木直道



鈴木知事が動く

地域の取り組みなどを動画でご覧いただけます

北海道庁インターネット放送局

検索



ロゴマーク



エールを北のチカラに。

ほっかいどう
応援団会議



「北海道」と一目でわかる「北」の文字をマーク
にしたデザインです。応援を意味する「エール」と
いう文字が隠されており、北海道を応援する方々
の「エール」が力強い「北(北海道)」を形成するとい
う意味を込めました。

キャッチフレーズ

エールを北のチカラに。

ロゴマークに込められた想いをベースとしたキャッチフレーズ
です。皆さんの応援を北海道の活性化に結びつけるため、さまざま
な機会を通じてプロモーションを展開していきます。

応援メッセージ

ほっかいどう応援団会議「応援アンバサダー」を
代表してスペシャルメッセージをいただきました。



僕たちGLAYは、
北海道のすべてを応援します。

このたび、ほっかいどう応援団会議
アンバサダーに就任しましたGLAY
です。このような大役をいただき大
変光栄に思っておりますが、責任の
重さも同時に感じて、メンバー一同、
気合いを入れて責務を果たしたいと
思います。

これから北海道がますます元氣
になるよう、生まれ故郷の函館のみ
ならず、僕たちは北海道のすべてを
さまざまな形で応援していくたいと
思います。

道民の皆さんと一緒に盛り上げてい
きます。応援をよろしくお願いします。

GLAY一同

プロフィール

1994年にメジャーデビュー。2019年に25周年を迎えた函館市出身のロックバンド。アニバーサリーヤーのこととは「GLAY DEMOCRACY」というテーマを掲げ、7つの公約を発表。

現在、全国アリーナツアーや北海道エリアでは、
11/30、12/1北海道立総合体育センター 北海きたえー
る、来年1/10、11函館アリーナにて開催。

応援メッセージムービー
公開中!



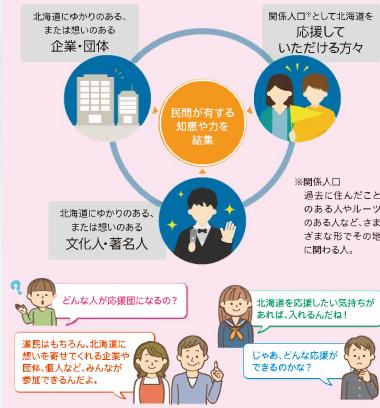
[特集]みんなの応援で、北海道を元気に!

活力あふれる北海道の実現に向け、「ほっかいどう応援団会議」の取り組みを進めています。

北海道にゆかりや想いのある企業・団体・個人をつなぐネットワーク「ほっかいどう応援団会議」を紹介します。▶特集に関するお問い合わせ 道庁地域戦略課 (011)204-5158 [メールを北のチカラに] [検索]

「ほっかいどう応援団会議」とは

「ほっかいどう応援団会議」は、「北海道が好き！」北海道に住んでみたいといった個人の方々や、「北海道を応援したい」「北海道をフィールドとして新たなプロジェクトを実施したい」といった企業・団体の方など、北海道にゆかりや想いのある皆さんの想いや力をお借りしながら、共に北海道の未来づくりを進めていくためのネットワークです。



応援の方法はいろいろ!

個人のふるさと納税や、企業版ふるさと納税、クラウドファンディングのほか、企業との協働活動、ボランティア活動や道産品の購入など、「北海道のために！」という想いが込められていれば、すべてが応援になります。

寄附などの応援

企業や団体、個人の皆さんが、寄附を通じて北海道に応援する方法です。

- ふるさと納税
- 企業版ふるさと納税^{※1}
- クラウドファンディング^{※2}など

*1 例）寄付を通じて、地域活性の取り組みを応援した場合に、給付金の被贈者権が受けられる仕組み

*2 インターネットを通じて実現したい取り組みを発信し、世間に賛同した人から資金を集めめる方法。

協働活動による応援

企業や団体が、道や市町村と一緒に、地域課題の解決につながる事業やプロジェクトに取り組む方法です。

- 連携協定に基づくプロジェクトの実施
- タイアップ事業など協働プロジェクトの実施

社会貢献事業を実施して広くPRしたい

タイアップしたい

民間企業など

協働

連携・協力

道、市町村

その他にも…

皆さんがお持ちの経験、スキル・体力・知力などを生かし、個人で北海道に役立つ活動をしたり、観光客として訪ねたりすることも北海道の応援になります。

- ボランティア
- 観光リビーター
- 道産品の積極的な購入

●道や市町村などが開催するイベントやキャバレーに参加

- 道や市町村のSNS(ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど)をフォローするなど、SNSでの情報拡散

●社会貢献事業を実施して広くPRしたい

●民間企業など

協働

連携・協力

道、市町村

応援の輪を広げたい!

「ほっかいどう応援セミナー」を東京で開催



9月26日に「ほっかいどう応援団会議」のキックオフイベントとして、道内外の企業・団体を対象とした「ほっかいどう応援セミナー」を東京で開催されました。

ご参加いただいた企業・団体141社(243人)に対し、知事や市町長が北海道の魅力や、応援を求める具体的な取り組みをPRし、応援の輪の拡大に向けたトップセールスを行いました。

今後、名古屋・大阪でのセミナー開催も予定しています。

(知事プレゼンテーション)

鈴木知事は、「ほっかいどう応援団会議」への想いや、道から応援をお願いしたい具体的な取り組みとして、ワボボイ(民族共生象徴空間)のPRなどについて紹介しました。

初めて登壇したむかわ町の竹中喜一町長は、国内最大の恐竜全身骨格化石「むかわ竜」をはじめとする地域資源を生かしたビジネスの創出や、「むかわ竜」の全身骨格(レプリカ)を作成するためのクラウドファンディングの取り組みなどを紹介しました。

【包括連携協定企業 プレゼンテーション】



サッポロビール株式会社は、2007年2月に道と包括連携協定を締結しました。

北海道本社北 海道戦略営業部の岩田邦彦部長は、生ビールの売り上げ

の一部を北海道の地域振興のために寄附する「道産子感謝DAY」の取り組みなどを紹介しました。

ウェブサイトで情報発信!

「ほっかいどう応援団会議」のポータルサイトを開設しました。道や市町村が応援を求める取り組みや、企業や団体による応援実績、アンバサダーによる応援メッセージのほか、北海道の地域創生に関するウェブマガジンなど、情報満載のサイトです。

道民の皆さんが応援できる取り組みも多数掲載していますので、ぜひご覧いただき、自分に合った応援方法を見つけてください。

[メールを北のチカラに] [検索]

応援団メンバーになろう!

「ほっかいどう応援団会議」に参加していただける企業・団体・個人の方を大募集しています。

●個人の方はSNSで簡単登録!

▶ライン



▶フェイスブック



公式アカウントを友だち登録

「ほっかいどう応援団会議」のページにいってね!

▶SNSのほか、ポータルサイト内の登録フォームからも参加できます。

「ほっかいどう応援団会議」に関する情報をお届けします。

●企業・団体の方は下記にお問い合わせください。

▶メール hokkaido.ouen@pref.hokkaido.lg.jp

▶電話 道庁地域戦略課 (011)204-5158

みんなの赤れんが

お問い合わせは
マークの窓口、またはウェブサイトへ。

犯罪被害に遭った方を支援しています

犯罪被害者は、犯罪による直接的なダメージだけではなく、心身の症状や医療費などの経済的負担など、被害後もさまざまな問題に苦しめられています。

警察では、事件や事故の被害に遭われた方や家庭内暴力、ストーカーなどで悩んでいる方の相談もあり受けけています。ほかにも、心の傷が癒えずには悩んでいる方のために、民間等被害者相談電話のカウンセラーが話をお聴きします。一人で悩まずに、ご相談ください。

【警察相談電話】
●被害者相談
●性犯罪被害者相談110番 #8103
少年相談110番 #0120-677-110
●一般相談 #9110

【民間等被害者相談電話】
北海道被害者相談室 (011)232-8740
性暴力被害者支援センター北海道
通話:さくらごんGARACH (050)-3786-0799

また、被害者のご遺族や障がいが残った被害者などには、国が給付金を支給する「犯罪被害給付制度」があります。詳しくは道警本部またはお近くの警察署にお問い合わせください。

▶遺族被害者支援 [検索]
▶道警本部警察課 [検索]
▶(011)251-0110

視覚障がい者向け道政資料を送付します

道では、視覚障がいのある方に向けて、点字版や音声版の選択のお知らせや広報誌などを作成しています。

公共施設や福祉団体へ配布して備え付けています。ほか、点字資料については希望する方に送付を行っていますので、詳しくは電話でお問い合わせください。

- 選挙のお知らせ(点字版)
- 選舉公報(全文点訳版) ほか

▶北海道選舉管理委員會事務局 (011)204-5153

●点字版広報誌「ほっかいどう」

※ハコンなどで音声読み上げソフトをご利用の方は、エクスプロイド広報誌の内容を聴くことができます。

▶道庁広報広聴課 (011)204-5110

北海道立文書館休館のお知らせ

北海道立文書館は、赤れんが庁舎の改修工事期間に伴い、9月30日をもって休館しました。

移転先である新施設(江別市)での再開は、2020年4月を予定しています。

休館中、資料の閲覧はできませんのでご注意ください。

●理解と協力をお願いします。

▶道府県立文書館調査課 (011)204-5441
▶道府県立生活文化課 (011)204-5219
▶道府生物多様性保全課 (011)204-5073

みんなで暖まりながら、かしこく節電を!

道では、北海道の厳しい冬を「みんなで暖かくなって乗り切るため、消費活動をしながら節電にも 불구하고取り組みを応援しています。

休みの日には、図書館などの公共施設や商業施設に出かけたり、家族がひとつの部屋に集中して過ごすなど、この冬も普段の生活を楽しみながらかしこく節電を行いましょう。

▶道政子ども子育て支援課 (011)204-5237

鳥インフルエンザ対策

高病原性鳥インフルエンザの発生を防ぐため、野鳥との接し方に注意しましょう。

●飼っている鳥に野鳥が近づかないよう気をつけましょう。

●死んだ野鳥、弱っている野鳥を見つけても、手で触らないでください。

●鳥の糞などに触れた後は、手洗いうがいをしましょう。

▶道府県衛生環境課 (011)204-5219
▶道府生物多様性保全課 (011)204-5073

子どもを虐待から守るために

あなたの気づきが大切な命を救います。次のような、虐待を受けていると思われる子を見かけたら、お近くの市町村や児童相談所に連絡してください。

●いつも子どもの泣き声や暴言がある

●不自然な傷や打撲の痕がある

●衣類や体がいつも汚れているなど

▶児童相談所 全国共通ダイヤル 189

※一部のIP電話からはつながりません

▶道政子ども子育て支援課 (011)204-5237

冬の交通安全運動

これから時期は、路面凍結によるスリップ事故のほか、高齢者や子どもなど道路を横断する歩行者との接触事故が多く発しますのでご注意ください。

早めに冬タイヤへの交換を行い、交通ルールの順守としややかのある交通マナーの実践を心がけ、交通事故のない安全で安心な北海道を目指ししましょう。

年末に向け飲酒の機会が増えますので飲酒運転をしないでください。

●野鳥のいる水辺などを訪れた後は、靴底を洗いましょう。

▶道府県交通安全課 (011)204-5219
▶道府県生活文化課 (011)204-5219
▶道府警本部交通企画課 (011)251-0110

まさかは必ずやってくる防災ガイド

防災・災害情報は 北海道 危機対策 [検索]

豪雪地帯である北海道では、毎年、除雪作業中の屋根からの軒先落事故など多くの命が亡くなっています。(※昨年度10人超)

雪落し下ろしは慣れている」という

油断が、取り返しのつかない事故を招きかねません。除雪作業は、作業を見守る人と2人以上で、安全対策をして行いましょう。

▶道行危機対策課 (011)204-5008

除雪中の事故を防ぎましょう

除雪作業は2人以上で 安全対策もしっかりと

雪落し下ろしは慣れている」という

油断が、取り返しのつかない事故を招きかねません。除雪作業は、作業を見守る人と2人以上で、安全対策をして行いましょう。

▶道行危機対策課 (011)204-5008

お知らせ 道議会

定例会の概要などをお伝えします。

令和元年第3回定例会(9/10~10/4)

■定例会の概要

知事から予算案3件(総額103億5千万円)と条例案11件、その他の案件13件の提案があり、議決しました。なお、決算案4件は、維持審査となりました。

また、議員及び委員会から提出された決議案1件、意見案6件が原案可決されました。

■第45回議場コンサート

定例会初日に議場コンサートを開催しました。

当時は、オホーツク管轄の北洋の音楽を演奏していました。

コンサートの模様は、右記「北海道庭園インターネット放送局 Hokkai-Dōjo」内で公開しています。

～次回定例会のお知らせ～

令和元年第4回定例会は、11月下旬に開会予定です。最新情報はウェブサイトやツイッター(@hokkaidogikai)などをご覧ください。

▶北海道議会 [検索]

質問などの詳細は、冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。各振興局等での開催のほか希望者の配布もありますので、下記にご連絡ください。

▶議会事務局政策調査課 (011)204-5691

議員・委員会提出案件 7件

●決議案 1件

日本貿易協定に関する決議

●意見案 6件

「北海道における持続的な鉄道網の確立」への対応を求める意見書など

■議員・委員会提出件の主な議論

①次期北海道生息総合戦略の策定において、人口減少対策やSDGsの考え方などをどのように反映していくのか

②統合型リート(R)に関する道民の意向をどのように把握し、実現の内容をどのように活用するか、説明責任をいつ行うのか

③日本子研研究開発機関から、脳延深地層研究センターでの深地層研究の計画延長について申し出があったが、道としてどのように対応するのか

④コラボサートの模様は、右記「北海道庭園インターネット放送局 Hokkai-Dōjo」内で公開しています。

■主な決議の状況

◎知事提出案件 27件

●予算案 3件「新千歳空港の日中発着件の拡大」における空港運営業務等について、民間運営者による円滑な推進に資するよう、緊急的な対策を実施するための経費など

●条例案 11件/その他 13件

「北海道道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例案」など

▶議会事務局政策調査課 (011)204-5691

白銀の釧路湿原を疾走する「SL冬の湿原号」運行!

蒸気機関車で、釧路駅～標茶駅間を走る観光列車「SL冬の湿原号」が、2020年1月下旬から3月上旬の間の期間限定で運行します。白銀に広がる湿原の中を走り抜け、釧路の冬の自然を満喫できます。車内はニス垂れの木の壁や木の座席、全席車にダラマストーブを設置するなど、徹底してシャットロードになっており、窓から外の風景を楽しめます。

だまっており、販売で販売しているスルメをダラマストーブの上で炙って食べる人が人気です。来年は運行20周年のため、運行期間に記念イベントも開催予定です。ぜひお越しください。

▶SL冬の湿原号 [検索]

▶商工労働観光課 (0154)43-9184

10月3日から北海道最低賃金が時間額861円に改定されました。「必ずチェック最低賃金!使用者も労働者も。詳しくは

北海道
最低賃金
で検索。

ほっかいどう 未来への元気遺産!

北海道を元気にする、人・もの・アイデアを紹介します。 ウィンタースポーツ編



スポーツの力で、楽しみながら
除雪問題を解決したい

国際スポーツ雪かき選手権 / 小樽市



豪雪で狭く
なった道を
除雪する
選手たち

除雪車が入れない坂道や狭い道が多い小樽では、高齢者の除雪負担が深刻化していました。ついで除雪をスポーツとして楽しもうと考案されたのが「スポーツ雪かき」。2014年から毎年2月に「国際スポーツ雪かき選手権」が開催され、地元住民や参加者からも大好評です。

参加できるのは中学生以上で、2~6人が1チーム。場所は抽選で決められた住宅街の路地などで、制限時間20分以内に雪かきを行い、雪かき効率(体積・人数・時間から算出した数値)や選手の消費カロリーなどで競います。

選手権は、これまで日本スポーツ雪かき連盟が運営してきましたが、来年は小樽市と連携し、行政と市民の協働活動として行う検討を始めています。



仮装して楽しむ参加者

年1回ではなく、
各町内会に広めたい。

日本スポーツ雪かき連盟
代表理事
松代 弘之さん

東京で行われていた「スポーツゴミ拾い」をヒントに、故郷の小樽にふさわしい社会貢献をしようと始めました。高齢者にはつらい除雪ですが、若者を巻き込めば、楽しいスポーツになると考えました。若者は地域住民から感謝され、社会のために汗をかく意義を感じているようです。年1回ではなく、各町内会で頻繁に行われるよう広めたいですね。

▶お問い合わせ 一般社団法人 日本スポーツ雪かき連盟 090-1702-6079

ほっかい家族

絵:あいば ゆう(第2回北のまんが大賞 大賞受賞)



2020.4.24
民族共生
象徴空間
オープン
民族共生象徴空間

知りたい!
ふれたい!

さまざまなアイヌの伝統や
風習、情報などを発信します。

アイヌ文化

ムックリやトンコリは、どんな楽器?

アイヌ民族に伝わるムックリとは、ネマガリダケなどを原料にした口琴です。長さ10~15cm、幅1cm程度の薄い板状で、中央に振動弁をくり抜き、付け根あたりに糸が付いています。ムックリをくわえ、糸を引くことで弁を振動させ、口中で音を響かせます。息を吸ったり吐いたり、舌を上下することで、動物の鳴き声や自然界の音など、さまざまな音色を表現することができます。

トンコリは、三弦~五弦の豊琴です。エゾマツやイチイなどの木製で、弦にはイラクサの纖維やシカの腱などが使われていました。抱きかかえるようにして持ち、弦を両手ではじくように演奏します。詳しくはアイヌ民族文化財団の右記ウェブサイトをご覧ください。

ウポポイ(民族共生象徴空間)
開設PRアンバサダー、宇梶剛士さんが
出演するウポポイPR動画配信中!



ムックリ

トンコリ



ウポポイ
PRキャラクター
トゥレッポン



おいしい道産品プレゼント!

全問正解者の中から
抽選で30名様

小樽洋菓子舗ルタオ 新商品「小樽煉瓦通りショコラ」(20枚入り)をプレゼント!
次のクイズ(2問)に答えて道産品を当てよう! アイヌ文化復興・創造の拠点である民族共生象徴空間は、白老町の湖畔に誕生する今までにないスケールのナショナルセンターで、アイヌ文化の多彩な魅力に触れることができる施設です。

クイズ1.アイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味する民族共生象徴空間の愛称は? ポポイ



クイズ2.民族共生象徴空間がオープンする日は?

- ①2020年3月24日
- ②2020年4月24日
- ③2020年5月24日

*ヒントは紙面内にあります。

●応募方法:クイズ(2問)の答え、住所、氏名、年齢、電話番号、

本紙への意見・感想を記入の上、ハガキまたはウェブサイトでご応募ください。
当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

●応募期限:12月26日(木)必着

応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先 〒060-8588(住所不要)

北海道広報広聴課「広報紙12月号 おいしい道産品プレゼント!」係
[広報紙ほっかいどう] 検索



●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のパックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。※9月号のプレゼントには、3,727件の応募をいただきました。

北海道の人口	総人口	男	女
令和元年9月末	5,273,681人	2,490,772人	2,782,909人
前年同月比	36,878減	17,430減	19,448減

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。



みんなの文字

お詫びと訂正

本紙2019年11月号の裏表紙記事「いきいき地域から」の「渡島総合振興局」
本文内のふりがなに誤りがありましたので、お詫びして次の通り訂正します。
誤)大船遺跡(おおぶな) 正)大船遺跡(おおぶね)

次号のお知らせ
3月号は2月19日(水)に配布開始の予定です。

発行/北海道総合政策部知事室広報広聴課
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL(011)204-5110 FAX(011)232-3796

広告